

あなたとつなぐ

甲賀_{こうか}

市議会だより

KOKA city assembly report

令和3年(2021)08.01 vol.67



Contents

- 02 【特集】議会報告会
- 05 4月臨時会
- 06 6月定例会議案審議
- 08 4月臨時会・6月定例会議決結果一覧表/意見書一覧表
- 09 常任委員会報告
- 13 令和2年度政務活動費報告
- 14 一般質問/市の考えを問う
- 22 【特集】高校生モニター会議 in 甲南高校&水口東高校

議会報告会 消防団の皆さんと語ろう

特集

議会報告会

コロナ感染症予防のため議会報告会を中止し、アンケートを実施しました。



総務常任委員会

甲賀市消防団がかかえる諸問題と課題解決をテーマに「議会報告会」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため中止し、レポートによる意見交換を呼びかけたところ、五つの方面隊と女性消防隊から多くの意見・提言が寄せられました。紙面の都合で、いくつか絞って紹介します。

新しい団員確保は喫緊の課題

共通して出されているのが、団員確保です。「新入団員候補が少ない」「勧誘が大変」「市・自治会等が団員確保に協力してほしい」「若い人が地元に住んでいない」などリアルな実態が出されました。また「誰か代わりがいないと退団できない」と現役の団員から生の声も届けられました。

平成28年の甲賀市消防団員意識調査結果報告書によれば、「何年くらい団員として活動したいか」との問いに30%近くの団員が「いますぐ退団したい」との回答があります。もちろん入退団は、個人の自由意思が尊重されるべきものですが、寄せられた意見のなかには「これが新入団員勧誘の妨げとなり、入団者が減少し、定員維持のためますます退団しにくくなる」という悪循環が生じている」と

率直に指摘する声もありました。新入団員減少の背景には、「地域の20代・30代の就労者が減少」「仕事が忙しい」「ポンプ操法訓練の負担がきつい」「家族が反対している」などの声が共通しているようです。

打開策として「任期制を導入してはどうか」「団歴が長い人の意向調査」などを行うことにより、「仕事や家庭の事情によって気兼ねなく退団できる」「任期が決まっていれば先が見える」など環境を整備することが大事と指摘されています。

地域防災を日常的に支えていただき火災・



水害などの有事の際には先頭に立って活躍していただいている消防団の役割は非常に重要ですが、その役割を引き継いでいくためには、団員の確保は喫緊の課題であり、その実現のためにも、団員の処遇や環境を改善することが重要であることが詳細にわたって指摘されています。

ポンプ操法訓練について

関連して「ポンプ操法訓練」に対する意見も多く寄せられました。「早朝・夜間の練習が仕事と家庭に負担。プレッシャーもあるが、一番効率的な習得方法でもある」という意見や「ポンプ操の技能も確かに必要なことだが、月例の訓練でも充分習得できる」「早朝練習はさすがにキツイ」「ポンプ操法の簡素化（競技性の見直し）」「これが団員確保の障害になっているのであれば、実施方法を検討する必要がある」など見直しを求める声もあります。

様々な角度から現状のリアルな問題点・課題が寄せられました。市では「消防団再編計画」を策定していますが、その充実のためにこうした意見を反映していくことが必要です。

議会報告会 持続可能な健康づくりを考える

厚生文教常任委員会

厚生文教常任委員会は、「持続可能な健康づくりを考える」をテーマに、日頃健康づくりに取り組んでおられる団体の中から健康推進員、甲賀市スポーツ推進委員、自治振興会（14地区）のみなさんにアンケート調査を行いました。市民の健康づくりにつながる貴重な意見をたくさんいただきました。一部紹介いたします。

甲賀市の特定健診受診率を現状の46・5%（目標60%）から更に向上させるためには何が必要だと思いますか。

「かかりつけ医による受診の指導・アドバイス」「広報紙、回覧板、音声端末などを用いた多様な情報発信」「病気の早期発見など受診効果の紹介」「受診者へ特典を付ける」「スマホでの予約対応」「学区単位や土日、夜間も受診できる体制づくり」など、受診対象者への啓発及び受診勧奨の強化、体制や環境を整えることにより、受診率向上につながるのではないかとこの意見が多くありました。また、現在通院（治療中）の方で、定期的に検



査を受けておられる方も、特定健診の対象となることについて、周知の徹底が必要と考えられます。

健康寿命を延ばすため、年齢や体力に合った運動が有効。より多くの人が運動に親しむためには何が必要だと思いますか。

ウォーキングコースの整備・イベント企画・マップの活用促進・教室開催などウォーキングのニーズに応える取り組みが必要といった意見が多く寄せられました。老若男女を問わず誰もが気軽にできる運動としてウォーキングをする人が広がっていることが改めてわかりました。また、「地域や学校で気軽に運動ができる場と仲間（チーム）づくり」「町や区単位でのスポーツイベントの開催」「施



地域でのウォーキング

健康保持のため自身で心がけていることは何ですか。

「ウォーキングの継続」「ラジオ体操、百歳体操、ストレッチ体操など体操の励行」「栄養バランス

「ウォーキングの継続」「ラジオ体操、百歳体操、ストレッチ体操など体操の励行」「栄養バランス

のとれた食事」「公共交通利用、階段利用などできるだけ歩く」など、みなさん日頃から意識的に健康保持に取り組んでおられることが伺えました。

健康で暮らしたいという願いは誰もが共通しています。今回アンケートでお寄せいただいた意見をもとに、「健康づくり推進条例」の制定も視野に入れながら、委員会として調査研究を行いたいと考えています。



公民館で実施されている健康体操

議会報告会 主にコロナ禍における現在の経済状況について

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、甲賀市商工会、甲賀市観光まちづくり協会、信楽町観光協会、甲賀市工業会、滋賀県製薬工業協同組合、滋賀中央森林組合、水口金融協議会、甲賀農業協同組合の8団体に、主にコロナ禍における現在の経済状況についてアンケート調査を実施しました。

輸入停滞による打撃

昨年、コロナ禍によりサプライチェーンの寸断が問題になりました。多くの品目で、この問題は一旦改善をしていましたが、「ウッドショック」と呼ばれるように今年に入り輸入依存度の高い材木の輸入が停滞し、建設業に打撃を与えています。国産材の比率を上げる政策の要望を滋賀中央森林組合からいただきました。林業はいち早く輸入の自由化により打撃を受けて来たが、国産林業復活のチャンスとも捉えることが出来ます。

製薬業においては、生薬の供給は回復したものの、輸入元の中国において値上



滋賀中央森林組合信楽事務所

げをされ、経営が圧迫されサプライチェーン寸断の影響が尾を引いている実態が浮き彫りになりました。コロナ禍前までは、輸入依存の危険性について議論されることが少なかったが、どこの国でも、非常時には自国ファーストになります。これを契機に、多くの品目において国産化しなければなりません。

飲食業・宿泊業・観光業

飲食、宿泊、観光業は廃業に追い込まれる事業者は多くないものの、昨年よりも厳しい状況におかれています。飲食業では、昨年、本市もテイクアウトへの転換を支援しましたが、そのテイクアウトすら、減少傾向にあり、個人や会社の努力で乗り越えられるレベルではありません。現状の打開も大事ですが、ワクチン普及後に見込

まれるコロナ終息に備え、早期の業績回復の政策を要望されました。その中で、リアル忍者館を中心にした観光拠点施設整備事業、周遊型観光促進事業に期待が寄せられました。



昨年の経済支援への評価

これまでの補助金・助成金では地域活性化支援金やクーポン券配布事業が好評であった一方で、テイクアウト・デリバリー支援は不評でした。また、金融支援・あっせんが、令和3年3月で急増、更にはサービス業でより顕著であり、今後更に厳しくなることが予想されます。厳しい状況が長引く中、慎重な判断が必要なもの、短期的には補助金にて欠損額の補填をもっと手厚くする必要が感じられます。一方で行政主導で、仕事を生み出していく措置も重要です。

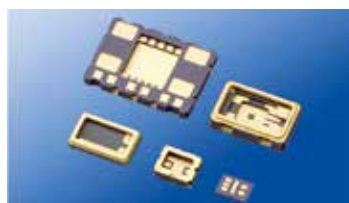
企業経営形態の強化が必要

ここで読み取れるのは、観光依存型経済の脆弱さです。観光は有事の際、真っ先に需要が壊滅する業種であり、今回の調査結果はこれを如実に示しています。またそれを回避することの難しさも読み取れます。アフターコロナを見据えた早期回復の政策に重点を置きつつも、長期的視野から各事業者の観光業への依存度を下げ、経営形態の強化を考えなければなりません。そのために工業や生活に欠かせない品目

への多角化が有効です。例えば信楽焼は観光の土産品に軸足が置かれていましたが、ファインセラミックスなど工業製品の開発・生産に多角化することで、今後有事に強い経営体制が構築できます。市は今後そうした支援を進める必要があります。



観光客向けの信楽焼



製品例(半導体用セラミックパッケージ)

4 月臨時会

第3回臨時会は4月21日に開催し報告1件、人事1件、専決3件、補正予算1件について審議を行いました。
なお、補正予算は予算決算常任委員会に付託され、審査が行われました。

報告案件

市有自動車での市側の不注意による事故により、相手方の車両に損害を与えたことによる損害賠償の報告

人事案件

◆固定資産評価員の選任
喜多 直子氏(水口町)

専決案件

◆条例等の一部改正
地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、本条例の一部改正を行うもの

◆介護保険条例の一部改正

第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定により介護保険料の軽減賦課に係る改正を行うことに伴い、本条例の一部改正を行うもの

◆令和2年度一般会計補正予算(第12号)

新型コロナウイルス感染症対策、児童福祉、教育振興のためにいただいた寄附金の基金積立及び国の補助採択などに伴い、歳入歳出予算にそれぞれ142万円を追加し予算総額を521億5782万9千円とするもの

補正予算

◆令和3年度一般会計補正予算(2号)

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得者の子育て世帯に対し、生活の支援を行うため、子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)を支給するための予算(6558万円、全額国費)を計上。
児童ひとりあたり5万円。約1200人(約600世帯)を対象。

主な質疑

Q 支給にあたり審査は市がするのか。方法や対象者の選定はどうか。

A 国の実施要項に基づいた全国一律の制度であり、市が審査する。対象者は3つの区分、①児童扶養手当の受給者、②公的年金を受給し児童扶養手当は受給していないが、児童扶養手当の限度額に該当する方、③児童扶養手当の限度額は超えるが、コロナで影響を受け家計が急変し、児童扶養手当を受ける水準になった方。

Q 児童扶養手当を受ける水準とは、どこを基準にするのか。

事業名	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯分)
対象者	①令和3年4月分の児童扶養手当受給者 ②公的年金等を受給していることにより、令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けていない方 ③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受けている方と同じ水準になった方(ひとり親世帯)
事業概要	給付金 6,000万円(5万円×1,200人) 事務費 558万円 対象者 約1,200人(約600世帯) 内訳①891人②29人③103人 ②③の申請追加見込み177人 ①の対象者は申請不要で登録講座へ振り込み ②③の対象者は申請が必要で、審査の上支給決定を行う

A 直近の1か月の給料明細等による家計の急変の1年間の収入見込み。または、令和3年度の確定する税情報に基づく令和2年度の所得額。

Q 感染症の影響を受けて家計が急変とあるが、コロナの影響は非常に幅広い考え方がある。前年に比べ明らかに収入が減っているということが確認できれば、柔軟に対応することは可能か。

A 聞き取りの中で、コロナの影響であるかどうかを確認し、柔軟に対応していく。

Q 申請が必要とあるが、周知方法は。個別に知らせるのか。

A 前回の対象者等には個別郵送。また、ホームページや広報紙で周知する。

Q 公的年金受給者とは具体的に。

A 遺族年金、障害年金、老齢年金、労災年金等の受給者。

Q 令和3年4月以降、対象期間中に新たに児童扶養手当の支給対象となった方は、この手当も受けられると理解してよいのか。

A 受けられる。

採決 以上全ての議案は全員賛成にて可決・同意・承認すべきものと決定しました。

6 月定例会議案審議

一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症の対応などに

5億7422万7千円追加補正

令和3年6月議会定例会は、6月4日から29日まで26日間の会期で開かれ、報告案件3件、条例案件7件、補正予算案件2件、その他案件6件の合計18件、また請願2件、意見書案4件について慎重に審議しました。

議案の主旨、本会議・委員会の主な質疑について紹介します。

報告案件

◆令和2年度一般会計、水道会計、水道会計それぞれの予算繰越計算書

条例・その他案件

◆公文書等の管理に関する条例の制定

公文書等の基本的事項を定め、行政文書や歴史公文書の適切な管理、保存等を図ることにより、効率的な市政運営や市の諸活動についての説明責任が全うされるようにする目的で条例制定するもの。

主な質疑

Q 条例制定の背景と動機、並びに条例の期待される効果は。

A 公文書等の管理に関する法律の第34条に、地方公共団体にも保有する文書の適正な管理に関し、必要な施策の策定と実施の努力義務が課された。市においてもまちづくりに関する情報を行政と市民が共有し、さらに市・市民との共有の財産であることを認識し、適正に管理する旨を定め記した。条例施行後は、これまで以上に公文書等の適正な管理と、市の諸施策の市民への説明責任が将来に渡って行えるものと認識している。

◆手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例の制定

障がいのある無によって分け隔てられることがない共生社会の実現に向け、手話をはじめ、障がいの特性に応じた、多様なコミュニケーション手段の選択の機会の確保や利用の促進を図るため条例を制定するもの。

主な質疑

Q 条例制定の必要性と背景・経緯は。

A 本市は全国手話言語市立当初から加入し、条例制定に向けて検討を行っていた。2019年度「滋賀県障がい者差別



条例制定を祝う市長・関係団体の方々

のない共生社会づくり条例」が施行され、その機運の高まりとともに、昨年度「甲賀市第3次障がい者基本計画」の策定にあわせて、条例制定検討部会で検討、今回の条例提案に至った。

◆固定資産評価審査委員会条例等の一部改正

提出者等の押印等を求めている関係書類について、押印等を不要とするため、関係する3条例、固定資産評価審査委員会条例、職員の服務の宣言に関する条例、公平委員会の委員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正するもの。

◆税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律が、令和3年3月31日に公布されたことに伴い、個人市民税においては、個人市民税の非課税の範囲にかかる扶養、所得割に係る寄附金額控除、公的年金等受給者の控除対象扶養親族申告書に係る扶養親族及び固定資産税の課税標準特例の項目について所要の改正を行うもの。

◆令和3年度一般会計補正予算

(第3号・第4号)

○主な補正事項・事業

6月定例会議案審議

- 新型コロナウイルス感染症対策に係る、ワクチン接種事業、生活支援・自立支援等給付金事業
- 中山間地域再生プロジェクト事業
- 団体営土地改良（農地防災）事業
- 水口幼稚園振興補助事業

◆財産の無償貸し付け

旧鮎河小学校及び旧山内保育園の跡地利活用について、ドローンのパイロット育成事業、コミュニケーションカフェの運営等それぞれの運営事業者に貸し付けを行うもの。

◆財産の処分

水口町宇川地先にある市有地（地目・用悪水路）を、地縁団体宇川区に無償譲渡するもの。

採決 全員賛成にて可決

◆工場立地法における緑地等の基準の特例を定める条例の一部改正

市内企業の集約化や高度化に向けた設備投資を更に促すとともに、甲賀市における企業立地の優位性を確保するため、市工場立地法における緑地等の基準の特例を定める所要の改正を行うもの。

主な質疑

Q 工場立地法における緑地または環境施設の役割と割合変更の基準は。

A 工場区画内の緑地、環境施設の設置目的は、環境の保全を図り、工場立地が適正に行われるようにするため。緑地は敷地面積の20%以上、この緑地に環境施設を加えた面積は敷地面積の25%以上とされている。今回の改正は法基準内での変更としている。

反対討論

工場立地法に規定する緑地・環境施設は、周辺の環境保全や調和を図ることを目的とされ、地域の中で工場が果たすべき義務でもある。このような制定経過で、今回の基準内ぎりぎりまで下げる改正は、法の趣旨にも反するのでは。

賛成討論

今回の改正においても、工場周辺環境はしっかりと守られるとの認識のもと、甲賀市での工場立地継続・増設を求める多くの企業の意向にも応じられる改正である。

採決 賛成多数で可決

請願

◆「夫婦・親子同氏を維持し、旧姓の通称使用の拡充を求める意見書」提出を求める請願

反対討論

婚姻は「両性の合意にのみ基づいて成立するもの」と再定義され、「選択的夫婦別姓の導入」が長年にわたり議論されてきた。国民の中では、「氏名は個人として尊重される基礎、個人の人格の象徴、また家族のあり方は多様である」との意識が多数を占めつつある状況のもと、選択的夫婦別姓制度の導入は、時の流れ、急務と言える。

賛成討論

夫婦同姓を義務付ける今の民法第750条は男女差別、男尊女卑には当たらないとの認識のもと、条文には「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する」と記されている。また、夫婦同姓を義務付ける現行民法が合憲であると最高裁判決で示されているところでもある。加えて、請願では旧姓の通称使用拡大にも十分な配慮がなされている。

採決 賛成少数で不採決

◆もしもの原子力災害に備えるため「安定ヨウ素剤」の事前配布と学校等での備蓄を求める請願

反対討論

「安定ヨウ素剤」の備蓄は、国の原子力規制委員会の検討チームが示す原子力施設からの距離でその必要性・根拠を判断している。甲賀市においても、備蓄するにはその根拠が必要で、原子力施設との距離からも屋内退避が実効的で効果的である。また、仮に備蓄しても服用のタイミングもわからない状態である。

賛成討論

もしもの原子力災害は、滋賀県と隣接する福井県に原子力施設がある限り皆無ではない。一旦災害が起これば「想定以上」の被害、人の命に係わる。ならより安全な回避策を講じる必要がある。とりわけ子どもたちに原発事故での放射性ヨウ素によって重大な健康被害が発症するリスクが高いなら、より安全対応・ヨウ素剤備蓄は、住民の命と暮らしを守る地方自治体の大事な仕事と考える。

採決 賛成少数で不採決

4月臨時会・6月定例会議案審議・意見書・請願

4 月臨時会議案の審議結果

	全員賛成で可決・同意・承認した議案
令和3年度 補正予算	一般会計補正予算(第2号)
人 事	甲賀市固定資産評価員の選任
専決処分の 承認	甲賀市税条例等の一部を改正する条例
	甲賀市介護保険条例の一部を改正する条例
	令和2年度甲賀市一般会計補正予算(第12号)

6月定例会議案の審議結果

	全員賛成で可決した議案
令和3年度 補正予算	一般会計補正予算(第3号)
	一般会計補正予算(第4号)
条例の 新規制定	甲賀市公文書等の管理に関する条例
	甲賀市手話言語及び情報・コミュニケーション 促進条例
条例の 一部改正	甲賀市固定資産評価審査委員会条例等の一部を 改正する条例

条例の一部改正	甲賀市税条例の一部を改正する条例
	甲賀市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
	甲賀市手数料条例の一部を改正する条例
その他	字の区域及び名称の変更(甲賀町鳥居野地先の一部における字の区域及び名称の変更)
	財産の無償貸付け(旧鮎河小学校の跡地利活用)
	財産の無償貸付け(旧山内保育園の跡地利活用)
	財産の処分(水口町宇川地先にある市有地を地縁団体宇川区に無償譲渡)
	市道路線の廃止(甲南町野田地先の野田下浦7号線)
	市道路線の認定(水口町名坂地先の堂山団地7号線外2路線)

賛成多数で可決した議案	
条例の一部改正	甲賀市工場立地法における緑地等の基準の特例を定める条例の一部を改正する条例

○：賛成 ●：反対

請願・意見書 議決結果																											
議案等の名称	提案者	討論		凜風会							志誠会							日本共産党 甲賀市議員団			公明党 甲賀市議員団			糸目 仁樹	竹若 茂國	鶴飼 勲	結 果
		反対	賛成	西村 慧	田中 喜克	林田 久充	山中 善治	橋本 恒典	谷永 兼二	田中 新人	土山 定信	辻 重治	橋本 律子	里見 淳	山中 修平	戎脇 浩	小河 文人	森田 久生	岡田 重美	小西喜代次	山岡 光広	堀 郁子	田中 將之				
「夫婦・親子同氏を維持し、旧姓の通称使用の拡充を求める意見書」提出を求める請願書	桑原國輝	岡田・堀	糸目	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	不採択
もしもの原子力災害に備えるため「安定ヨウ素剤」の事前配布と学校等での備蓄を求める請願	他2井野名文	田中將	土山・山岡	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	●	不採択
コロナ禍のもとで東京五輪は中止・延期の決断を求める意見書の提出について	小西	小河	岡田・竹若	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	否
国民投票法改定案の抜本的改正を求める意見書の提出について	小西	西村	岡田	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	否
介護施設の食費負担増の中止・撤回を求める意見書の提出について	岡田	田中喜	山岡	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	否
放射能汚染水の海洋放出撤回を求める意見書の提出について	山岡	土山	小西	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	否

総務常任委員会 日誌



左から（前列）副委員長 田中喜克 委員長 森田久生 （後列）里見淳・田中將之・山岡光広・辻重治・西村慧・林田久充
総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。

■4月22日

中長期財政計画の見通し

■5月21日

「株あいコムこうか」の経営健全化に向けた取り組みの進捗状況について、甲賀市災害時受援計画（素案）について、第4次甲賀市行政改革大綱（たたき台）について

中長期財政計画の見直し

現在の中長期財政計画は、平成30年に策定したもので、計画策定後の社会経済情勢の変化や国の地方財政対策などが本市財政運営にも大きな影響を与えている。

こうした状況下、甲賀市総合計画（第2期基本計画）の内容を踏まえつつ将来の財政見通しを、中長期的な視点に立ち、健全な財政運営の確保の指針とする見直しを行なうもの。

財政計画策定の目的

- (1) 中長期的な財政収支を推計し、将来への課題把握と財政の健全性を確保するための指針
 - (2) 各種計画の推進を図る際の指針（財政的裏付け）
 - (3) 予算執行や予算編成の指針
- 試算の期間・対象
- 令和3年度から令和10年度
 - 普通会計（一般・野洲川基幹）

甲賀市災害時受援計画（素案）

◎ 受援計画とは…災害時には、被災市区町村に対して、他の地方公共団体や指定行政機関・公共機関、民間企業等から人的・物的資源などの支援・提供が行われる。平成28年熊本地震において、受援体制が確立されていない中、種々混乱が



災害に備えて防災会議

生じた。こうしたことから、防災基本計画や災害対策基本法の規定も鑑み、地方自治体レベルでも受援計画を策定することになった。

受援計画の策定趣旨

災害時、応援職員等を迅速に受け入れ、情報共有や各種調整等を効果的に行えるよう、既存の地域防災計画と業務継続計画を補完し、かつこれらとの三位一体での機能が期待される災害受援計画とする。

受援計画素案概要

甲賀市災害対策本部のもと、受援体制（受援担当での総合調整、人的支援の受入れ、応援に係る計画、物的支援の受入れ等の事項を計画におり込み定める。

「株あいコムこうか」の経営健全化に向けた取り組み状況

甲賀市の地域メディアとして行政の情報、災害情報等の提供を行う第3セクターの経営状況は、設立10年目にして、一定の財政健全化に至ったと察せられるが、今後も更なる経営安定の企業努力が求められる。

令和2年度における取り組み

- (1) 市の経営改善計画モニタリング
- (2) 引き継いだ不要資産の撤去
- (3) あいコムこうかのアクションプラン実行

令和3年度における取り組み

- (1) 市の第3セクター等経営健全化方針に基づき、情報と課題を共有し協議を踏まえ指導・監督。
- (2) 放送番組のリニューアル・10周年記念事業の実施・中期ビジョンII等を重点に取り組む。（持続可能な経営の安定と放送の充実）

今後の方向性（課題等）

- (1) 債務超過状態の早急解消
- (2) IRU（光ファイバー芯線等の賃貸借）使用料について
- (3) ICT社会の技術革新に対応できる地域情報基盤整備について

厚生文教常任委員会

日誌



左から（前列）副委員長 山中善治 委員長 山中修平 （後列）戎協浩・竹若茂國・堀郁子・岡田重美・谷永兼二

市民の生活と福祉、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

■4月16日

介護保険料、国民健康保険料、後期高齢者医療保険のコロナウイルス感染症の影響による減免、病児・病後児保育事業、伴谷幼保統合認定子ども園整備事業、小中学校施設長寿化計画、乳幼児保育・学校教育指針等

■5月19日

【現地視察】貴生川小学校教科担任制度、社会教育委員の会議からの提言、第3次健康こうか21計画素案等

■6月23日

請願、手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例、財産の処分、手数料条例一部改正、第2次甲賀市地域福祉計画、第3次健康こうか21計画(案)、甲賀市教育大綱の改定方針、新型コロナウイルスワクチン接種事業等

現地視察

小規模保育事業所ちきゅう保育園

西友水口店2階に開設。0歳から1歳まで（空きがあれば2歳）が対象で定員は19名。ぬくもりある木材の施設で小規模家庭的保育が行われている。



小規模保育事業所ちきゅう保育園

水口小学校の教室を借用した放課後児童クラブ

水口小学校の1～6年生の児童が対象で120人定員。校舎内にあり、通所の安全性が高い。



水口小学校の教室借用の放課後児童クラブ

貴生川小学校の教科担任制度

5・6年生について教科ごとに専門の教師が指導教科を担当し、クラスの問題は指導職員全員が対応する。教科の質を全クラス均等にレベルアップさせる。

Q先生の反応はどうか。生徒との触れ合いの時間が短くならないか。子どもたちの主体性をどのように求めているのか。

A今までから一部教科担任はあり、それを今回全教科に広げた。国語、算数は特に専門性が必要で教科担任制が良いと感じる。子どもへのアプローチは教材研究の合間に担任のクラスに入って対応している。保護者からの不安の声は出ていない。主体性については、子どもたちが自ら、考える楽しさを感じるように、指導していく。



貴生川小で説明をうける

重層的支援体制整備事業

高齢、障がい、子ども、生活困窮への支援を一体的に実施する事業。制度の狭間のニーズにも対応していく。

Qアウトリーチや相談拠点、担当者の引き継ぎはどのようにするのか。地域づくりが必要だが支援体制や人材投与はどうか。

A支援員が訪問し、出会えない時は手紙など地道につながりをもつよう対応している。相談拠点は学習支援やフードバンクなどを増やし、義務教育後の居場所も必要と感じている。担当者は専門職の配置等協議している。地域づくりは隣近所の付き合いから呼びかけ、地域市民センターの必要性や地域マネージャーの活用を検討する。

乳幼児保育教育指針

Q人権教育は保護者や保育者に学んでもらいたい。

A園児に関わる全ての人が学ぶことが必要と考える。今後も職員、保護者の人権研修を実施する。

学校教育指針

Qタブレットの破損の心配はないか。コミュニティ・スクールで負担は増えないか。

Aタブレット使用のルールを作り、指導する。コミュニティ・スクールは貴生川小学校と土山小学校で取り組む。負担が増えるということはない。

産業建設常任委員会 日誌



左から(前列)副委員長 小西喜代次 委員長 橋本律子(後列)土山定信・鶴飼勲・田中新人・小河文人・白坂萬里子・糸目仁樹
産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。

■ 4月19日

飯道山登山道観光トイレ整備状況、観光拠点施設第1次整備第2期工事の現地視察等

■ 5月11日

道路破損等不具合箇所のLINE通報開始等

■ 6月22日

甲賀市工場立地法における緑地等の基準の特例を定める条例の一部改正、市道路線の廃止・認定等



リアル忍者館懸垂幕

リアル忍者館トイレは従来和式が中心であったものを全て洋式化した。

観光拠点施設第1次整備第2期工事(現地視察)



飯道山登山道観光トイレ整備

40年以上経過した古いトイレを改修し、登山客が快適に利用できる。

飯道山登山観光トイレの整備状況(現地視察)

道路破損等不具合箇所のLINE通報開始(報告)

4月30日付けで国より示されたガイドラインに準拠し、通報される方の名前や連絡先など個人情報を入力を不要とした上で、区長文書(6月15日配布)の発送により運用開始する。

利用料の考え方について、過去に陶業組合と相談したが、組合員以外の方が増えてきて、組合で全て処分は難しく、現状のままで施設を続けてほしいと要望があった。

信楽不燃物処理場土地の賃貸借は



リアル忍者館トイレ洋式化

甲賀市工場立地法における緑地等の基準の特例を定める条例の一部改正

条例制定より3年が経過した今、市内の工業団地に空き空間が無く、市内工場敷地に余裕が少ないことから、市内の企業の集約化・高度化に向け設備投資の促進や企業立地の優位性確保のため本条例の緑地等の面積率を国が規定する基準の下限まで引き下げるもの。

市道路線の廃止

甲南町野田下浦7号線は路線を延伸するため一旦廃止するもの。

市道路線の認定

- 堂山団地7号線(水口町名坂堂山地先)
- 新城・北沢5号線(水口町新城北沢地先)
- 野田下浦7号線(甲南町野田下浦地先)

民間住宅開発に伴い、新たに整備された住宅団地内道路につき市道認定する。

組合議会報告

甲賀広域行政組合議会

令和3年第2回臨時会

7月1日

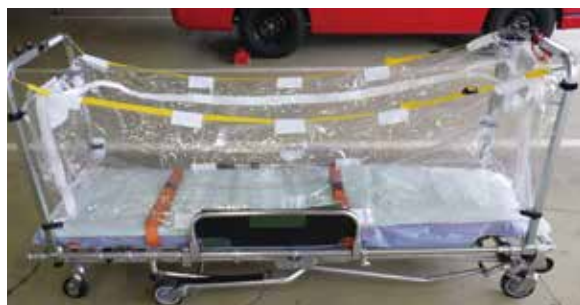
甲賀広域行政組合議会臨時会が7月1日開かれ、補正予算（1号）の専決処分の承認と補正予算（2号）、財産取得（消防ポンプ自動車及び災害対応特殊救急自動車）を全員賛成で可決しました。

補正予算1号は、職員退職等による人員不足を業務委託により補うため416万2千円の歳出補正を行うもの。業務委託は、大型燃えるゴミ事前受付を滋賀県シルバー人材センター連合会に。

補正予算2号は、ゴミ処理施設の排ガス中の水銀対策のための薬剤購入（882万3千円）及び薬剤投入装置設置工事（582万円）を、また新型コロナウイルス感染症の患者等の移送・搬送に万全を期すための資機材として「搬送用アイソレーター」を購入するための経費（154万円）を計上しています。

搬送用アイソレーター（写真）は、感染症患者や同乗する家族を安全に搬送するための機器。活動に携わる救急隊員の感染リスクを減らすことができます。すでに一台導入しており、二台目。

以上2件について山岡光広議員が質疑を行いました。



搬送用アイソレーター装置

ポンプ自動車（3806万円）を株式会社斎藤ポンプ工業が、また湖南石部分署配備の高規格救急自動車（2750万円）を滋賀日産自動車株式会社が落札した「財産の取得」議案、いずれも全員賛成で可決しました。

甲賀市議会は112位

議会改革度調査ランキング

早稲田大学マニフェスト研究所が「議会改革度調査2020」ランキング300を公開し、甲賀市議会は112位となりました。情報共有、住民参画、機能強化の3分野で評価され、甲賀市議会は情報共有が課題となっています。次の定例会で広報委員会を広報広聴委員会にする議案を上程予定で、更なる情報共有を図っていきます。

甲賀市議会のランキングの推移

2017年	ランキング(H29)	575位
2018年	ランキング(H30)	64位
2019年	ランキング(R元)	117位
2020年	ランキング(R2)	112位

15年表彰



向かって左から土山議員、山岡議員、鵜飼議員

全国市議会議長会第97回定期総会において、通算15年以上議員として在職されたことに対して議長会長から3名が表彰されました。

鵜飼	勲	議員
山岡	光広	議員
土山	定信	議員

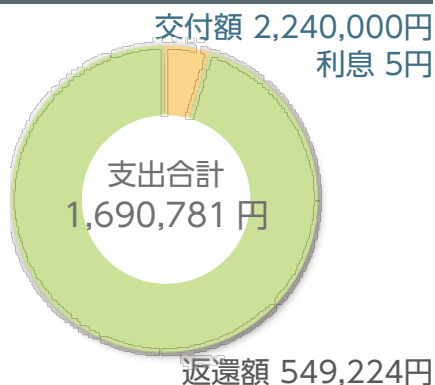
令和2年度

政務活動費報告

令和2年4月1日～
令和3年3月31日

凜風会 (10 名)

- 資料作成費 82,691円
- 広報費 1,608,090円



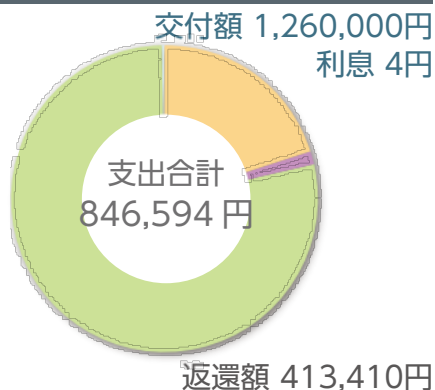
議員には調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として政務活動費が交付されています。

甲賀市の政務活動費は、議員1人1か月2万円、所属会派(無所属議員)にあつては個人に交付し、年度末にその使途を明確にして精算し、残金は返還しています。

領収書の写し等はホームページで公開しています。

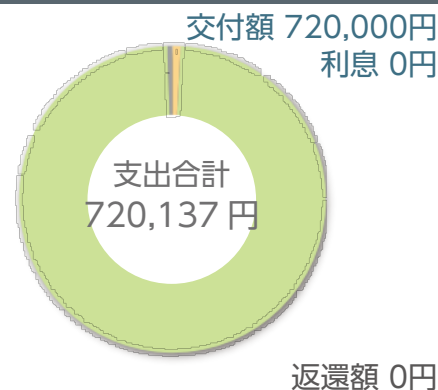
志誠会 (5 名)

- 資料作成費 170,503円
- 資料購入費 11,000円
- 広報費 664,431円
- 会議費 660円



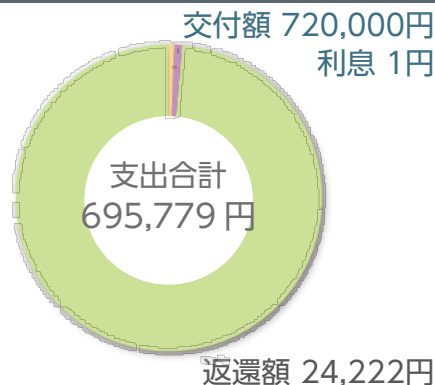
日本共産党甲賀市議員団 (3 名)

- 資料作成費 6,232円
- 広報費 711,205円
- 広聴費 2,700円



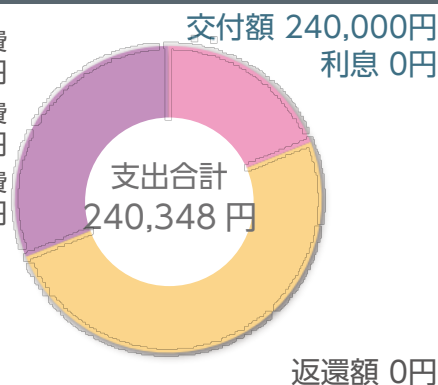
公明党甲賀市議団 (3 名)

- 資料作成費 5,368円
- 資料購入費 4,455円
- 広報費 685,956円



会派に属さない議員 鵜飼 勲

- 研究研修費 45,430円
- 資料作成費 120,391円
- 資料購入費 74,527円



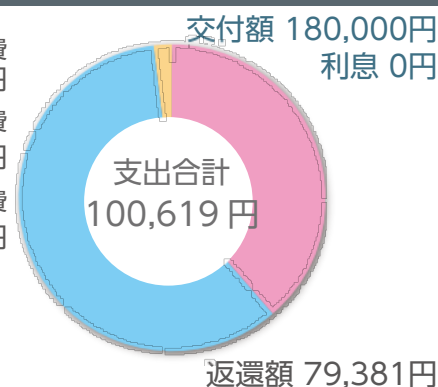
会派に属さない議員 竹若 茂國

- 広報費 26,400円



会派に属さない議員 糸目 仁樹

- 研究研修費 38,966円
- 調査旅費 59,763円
- 資料作成費 1,890円



21人の議員が 市の考えを問う

令和3年

6月15日・16日・17日・18日

目次

令和3年 第4回甲賀市議会定例会一般質問（通告順）

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	たなか よしかつ 田中 喜克	1 市内外の多くの方が集うスポーツの殿堂「水口スポーツの森」の再整備について 2 市の教育振興に資するための甲賀市教育研究所の活動について 3 子供たちの運動能力・体力向上、地域自然・環境を知るための施策について 4 甲賀市全域に張り巡らせた「あいコムこうか」の通信線網について 5 小さな行政の課題、市民にとっては切実、大きな願い 要望の現状について	11	つちやま さだのぶ 土山 定信	1 コロナウイルスワクチン接種について
2	おがわ ふみと 小河 文人	1 植樹祭開催する市として今後の森林保護と国産材利用について 2 国立高専誘致の市としてより積極的な姿勢を示すべきではないか 3 県立窯業試験場の蓄積されたデータ管理と収蔵品について	12	うかい いさお 鵜飼 勲	1 国土交通省が推進する交差点名標識の改善について 2 西日本旅客鉄道(株)との忍者観光関連協議について
3	もり た ひさお 森田 久生	1 「私のあの一般質問、その後どうになりました？」	13	はしもと りつこ 橋本 律子	1 より良い、文化財の保護活用を図るには。 2 甲南体育館周辺の土地利用再編を！
4	えびすわき ひろし 戎脇 浩	1 大規模太陽光発電施設開発に対し地域に寄り添った対応を	14	やまなか しゅうへい 山中 修平	1 ごみ焼却炉からの水銀排出防止と家庭に残る水銀体温計の回収について
5	おかだ しづみ 岡田 重美	1 選択的夫婦別姓制度について 2 コロナ禍のもと、生活困窮者への支援について 3 いまこそ介護人材確保対策の支援強化を 4 緊急通報システム事業の改善について	15	たなか あらと 田中 新人	1 小中学校におけるタブレット端末を導入した授業について 2 スポーツによる地域活性化について 3 旧東海道(泉～西水口)舗装道路改修について 4 甲賀市の農業が抱える問題と将来に向けた改善策について
6	やまおか みつひろ 山岡 光広	1 原発避難マッチング計画について 2 新型コロナワクチンの安定的供給と接種体制の拡充について 3 75歳以上高齢者の健康診断「人間ドック」に助成を求める 4 ランドセルとランリュックについて 5 小児医療の充実へ医師の確保策を	16	はやしだ ひさみつ 林田 久充	1 児童公園(児童遊園)の維持管理の主体について 2 (仮称)伴谷幼稚園・伴谷保育園統合公私連携幼保連携型認定子ども園整備事業の取り組み状況について 3 徹底的な行政改革の真意とは
7	にしむら けい 西村 慧	1 交通不便地域での移動手段の確保と買い物支援について 2 保育・教育環境の拡充と育児のサポートについて 3 今後の情報格差(デジタル・ディバイド)の対策について	17	たなか まさゆき 田中 将之	1 パートナースhip制度の導入を 2 デカフェ抹茶で海外進出を 3 オンラインツアーの活用で甲賀市のファンづくりを
8	つじ しげじ 辻 重治	1 農業の振興について伺う 2 林業振興、業振興について伺う 3 名神名阪連絡道路について伺います	18	たにが けんじ 谷永 兼一	1 学校に行きづらさを感じる子どもたちの学校以外の選択肢について 2 コロナ禍における業務継続計画(BCP)について
9	ほり いくこ 堀 郁子	1 生理の貧困について 2 電解水について 3 校則について	19	さとみ あつし 里見 淳	1 GIGAスクールについて 2 大戸川ダムについて
10	いとめ まさき 糸目 仁樹	1 市から発信の情報について 2 濃厚接触者向け食事支援について	20	こにしき よつぐ 小西喜代次	1 あらためてコロナの感染拡大防止のための検査拡充を求める 2 幼保・小中学校再編計画について 3 市営住宅の入居条件から税の滞納の除外について 4 信楽高原鉄道への障がい者・高齢者への無料乗車制度の適用について 5 勅旨西恩寺橋の拡幅の早期実現について
			21	たけわか しげくに 竹若 茂國	1 自治振興会、区(自治会)、市民センター、公民館の運営と今後の在り方について

■答弁者の凡例

総合政策部理事	総政理事	こども政策部長	こ政部長	産業経済部長	産経部長
健康福祉部長	健福部長	総合政策部長	総政部長	産業経済部理事	産経理事
危機・安全管理統括監	危機統括監	市民環境部長	市環部長		



QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 喜克
凜 風 会



Q JA本所前にロータリー交差点を
A 現地で設置するのは難しい

Q JAこうか
本所前にロータリー交差点を。

建設部長 ロー

タリーは難しいが安全な交差点対策を進める。

Q 「あいコムこ

うか」の通信線網を活用し、行政情報特化で常

に「行政の顔」が見える放送を。

総政理事 「あいコムこ」は今日までも身

近な地域情報番組やコロナ禍における学習番組の特別プログラム等に取り組んでいる。今後も、市職員も積極的に出演し、「行政の顔」が見える放送に「あいコムこ」と市が連携して取り組む。

Q 「あいコムこ」の情報発信拠点を市庁舎周辺、水口地域に設置と、リアルタイム放送のため、庁舎内にサテライトスタジオを設けては。

市長

情報収集や災害時に行政との連携を図り迅速に情報発信を行うためには、庁舎周辺に拠点を置くことはメリットが大きい。また通信ネットワークを活用した臨時のスタジオ開設も検討する。



日野町に設置されたロータリー交差点

小河 文人
志 誠 会



Q 築45年、老朽化した校舎の建替は
A 大・中規模校は建替を検討する

Q 植樹祭の開催市として、学校施設の本道校舎、大規模改修には、コンクリートから積極的な木質化を進めるべきではないか。

市長

木造施設は調湿性や断熱性に優れ、人や環境にやさしく、空間を演出し、学習環境上の効果も大変大きいと考える。全国植樹祭の本市での開催を契機に、地域内での木材利用の好循環を創出するモデルケースとし、教育施設においても国産材を積極的に取り入れていく。

Q 高等専門学校の誘致に向けた働きかけとプロセスについて問う。

市長

県が、懇話会で方針を取りまとめられた。本市はものづくり企業が集積する県下一の製造拠点地域であり、産業界との連携が十分に図れていることが極めて大きなアピールポイントと考えている。産業界とともに、人材育成に向けて、高等専門学校の誘致を要請していく。



国産材を使ったCLT工法で建設中の農業技術試験場

森田 久生
志 誠 会



Q 中山間地域の諸課題について
A 活性化のための事業を実施

Q 今回は、岩永市政に対し行った17回の一般質問の中から、前向き答弁を頂いた14項目的を絞り「私のあの一般質問、その後どうなりました？」と題し、その後の対応を追いかけた。令和元年12月議会「中山間地域の諸課題と再生プランについて」から。大変前向きな答弁を頂いたが、その後、どのような具体的施策を実現したのか、また、今後の考え方は。

市長 中山間地域活性化のために「スマート農業モデル実践事業」や「移動販売モデル事業」を実施した。今後も、地域の皆様と対話の場を持ち、ランドデザインを共有したい。中山間地域の皆様に光を感じて頂きたい。

その他にも、当市再犯防止推進計画の策定状況、子育て教育ナバーワンの現状、老朽化が進む公共施設の維持管理、地場産業の産業支援等、計14項目に答弁後の進捗を質問しました。



～地場産業『甲賀の薬』～
甲賀市への貢献度に見合った業界支援を！

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

戎脇 浩
志 誠 会

Q 太陽光発電開発に地域配慮を
A 地域からの相談に助言を行う

Q 大規模太陽光発電施設の
 開発において、事業者と
 どのような協定を結ぶの
 か。

建設部長 関係各課と協
 議の上、開発協定を結ぶと
 ともに、調整池等流出抑制
 施設の管理協定により、堆
 積土砂浚渫についても定める。



水口町新城地先で開発中の発電施設

Q 岩上地域の開発においては排水が全て山川
 に流入することになり、下流域の水口第一区は
 全く対応が不可能である。水害等その影響が懸
 念されるが、責任ある指導を行うのか。

建設部長 条例上、都市計画法と同様の審
 査・指導を行っており、適切に責任を持って指
 導を行う。

Q 脱炭素社会の構築、土地の有効活用など開
 発を進めるためには、地域の不安感を取り除く
 ことが必要である。地域と事業者との協定等
 においても、地域に寄り添う相談体制が必要で
 はないか。

建設部長 不安感を取り除くため、地域からの
 相談に対する助言や事業完了後に現地確認を行
 う等の対応について検討する。

岡田 重美
日本共産党

Q 学校トイレに生理用品の常備を
A 速やかに学校現場と検討したい

Q 経済的理由等により
 生理用品を買えない「生
 理の貧困」への対応とし
 て、子どもたちの安心
 のため小中学校のトイレ
 に生理用品の常備を。

教育部長 速やかに学
 校現場と検討したい。

Q 夫婦別姓が義務付け
 られている国は日本だ
 け、家族のあり方も多様化している。ジェンダー
 平等社会実現のためにも選択的夫婦別姓が求め
 られる。制度改正について国に働きかけを。

市長 婚姻制度や家族のあり方に関する重要
 な問題、国の議論を見守りたい。



神奈川県内の中学校トイレに設置された生理用品

Q コロナ禍のもと、介護人材確保は急務。家
 賃補助など市独自の人材確保対策を強化すべ
 き。

健康福祉部長 現場の声をしっかりと聞き検討した
 い。

Q 生活困窮者支援、熱中症対策として低所得
 世帯等へのエアコン購入費用の助成を。

健康福祉部長 まずは生活保護世帯への支給拡大
 を国に働きかけたい。

山岡 光広
日本共産党

Q 75歳以上高齢者に人間ドック助成を
A 助成は考えていない

Q 国保加入者には上
 限二万円の人間ドック
 補助があるが、75歳以
 上高齢者は除外されて
 いる。人生100年の
 時代、早期発見・早期
 治療のためには、人間
 ドックへの助成を復活
 すべき。

市長 若年層に比べ、
 医療にかかる機会も多く、より疾病を早期発見
 できる環境にあるので助成は考えていない。

Q 福井の原発群で一旦苛酷事故が起これば、
 長浜市民が甲賀市に広域避難する計画になって
 いるが「マッチング」は具体化されているか。

危機統括監 木之本と高月の一部が対象で、
 一時滞在场所として3施設で受入、準備が整い
 次第、市内78カ所の避難所を随時開設する。

Q ワクチンの安定的供給と接種体制の拡充。
 移動手段が困難な人も含め希望する人が接種で
 きる体制を。

健康福祉部長 集団と個別接種の充実をはかり、
 在宅や施設での接種が可能となるよう支援す
 る。

《人間ドックへの助成》
 ■国保加入者の場合
 ……上限2万円
 ■同 脳ドックの場合
 ……上限3万円
 ※75歳以降後期高齢者医療保険に移行す
 れば対象外に





QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

西村 慧
凜 風 会



Q ワクチン受付で見えた課題は
A WEBの方が有利になった面あり

Q デジタル・ディバイド(情報格差)是正に向けて、地域単位で支え合えるよう、地域へのサポートを強化しては。

市長 大きな課題であると認識しており、今後、市もしっかりとサポートしていきたい。

Q 地域自主運行支援事業の要綱作成時期は。

建設部長 現在、2つの地域と協議を進めており、先進事例の調査等を進めながら、今年の秋頃を目指して進めている。

Q 甲南統合認定こども園整備の進捗は。

こ政部長 今年8月の実施計画検討協議会に整備候補地を示し、合併特例債の発行期限(2024年度)内に進めたい。

Q 産後ケア事業の内容拡充は。

健福部長 今年の秋頃を目的に「アウトリーチ型」に加え、「宿泊型」と「デイサービス型」を新たに導入する。



「広報こうか2017/5/1号」より

辻 重治
凜 風 会



Q 農・林・業の振興について
A 積極的に地域内循環に取り組み

Q 農業へのコロナ感染症対策の支援は。

産経理事 コロナ禍で市場価格低迷と共同作業が出来ない中、労働力不足解消を図るため、スマート農業の実践促進、農機具購入や研修支援を図る。「収入保険」加入経費支援を行う。

Q 全国植樹祭の開催と森林振興の支援は。

市長 受け継がれた山々の資源を全国に発信し、森林・林業への理解を深め、木を育て伐採後には、地域内循環利用をめざした森林づくりに取り組むと共に、公共施設の木質化木造化に努める。

Q くすりを生かした甲賀らしいまちづくりの実践とは何か。

産経部長 くすりのコンソーシアム事業で、関係団体と行政が連携・協働し地場産業の維持拡大を図る。

Q 名神名阪連絡道路の起点位置変更の影響は。

建設部長 起点が名神八日市IC付近となり、広域道路ネットワークから、北陸圏が最短経路になり企業立地など発展が期待できる。



ウッドショックで地元材の活路を

堀 郁子
公 明 党



Q 生理の貧困に対し学校でも支援を
A 早急に学校現場と検討する

Q 東京都の全都立学校女子トイレに生理用品を配備することを全国の学校で展開すべきと国会で公明党が提案、萩生田文部科学相が適切な支援に取り組みと答弁したが市の学校現場でも生理用品を自由に誰でも持つて行っていくようにできないか。

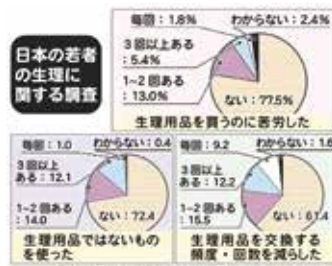
教育部長 早急に学校現場と検討する。

Q 安全で洗浄力が強く除菌力が高い電解水生成装置を設置してはいかがか。

産経部長 費用対効果を見て検討する。

Q 各地の学校で校則やルールを見直す動きがあるが市ではいかがか。慣習的に行われていることとで不合理なものはないか。校則や慣習的に行われていることを見る化してはいかがか。

教育部長 現在の校則は見直しや検討を重ね精選されており不合理と感じるものはないと認識している。慣習的なものは確認する。



「みんなの生理」調査結果から

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

危機統括監 県の新型コロナウイルス感染症対策本部で決定された協力要請に基づいて発信した情報である。今後も迅速かつ正確な情報発信に努める。

その他、市の濃厚接触者向け食事支援事業について 質問をしました。



NPO法人日本ECMOnetによる医療現場のデータ

糸目 仁樹
無所属



Q コロナ情報は真相を踏まえた発信を
A 感染状況は県の要請に基づくもの

Q コロナ感染情報で不必要に市民を煽り、飲食店への風評被害を出してはならない。PCR陽性でコロナ感染は証明できないと、昨年12月2日参議院地方創生及び消費者問題に関する特別委員会での柳ヶ瀬委員の質問に対して厚労省幹部が明確に答弁した。また厚労省通達により、死亡時にPCR陽性ならばコロナ死でカウントされ、発表数字は疑わしい。医療現場データによると人工呼吸治療を経て亡くなった方の累積は本年5月26日時点で約1500人で、情報の検証が必要。

土山 定信
凜風会



Q コロナワクチン接種の状況は
A 問題なく進められている

Q わが市のワクチン接種の進捗状況は。
健福部長 すでに医療従事者は終わっていて、他市より遅れているとは思っていない。

Q 一次予約から二次予約で予約枠を拡大し、接種順番が、二次予約の方が早くなったとの声も聞かれます。

健福部長 国の方針の変更によるものであり、説明して理解いただけたと考えています。

Q 今後の現役年齢の接種であるが、わが市は、県下最大の製造品出荷額を誇る市であり、職場のことを配慮した接種方法であるか。

健福部長 市内企業と職域接種の意見交換を進めており、可能な限り協力関係を構築したい。
Q わが市として、接種を希望する市民全員に行き渡る予定は。

健福部長 医療機関の協力、また職域接種も期待し10月末と考えています。



事故無しで早い対応を

鵜飼 勲
無所属



Q JR西との忍者観光協議について
A 事務レベルの協議で課題がある

Q 国交省が推進する観光地名標識の具体的改善は。

市長 本市にとって忍者、紫香楽宮跡は重要な観光資源である。交差点名称の変更は観光発展のための有効な手段であり、候補地を検討する。

Q JR甲南駅が、一般社団法人鉄道建築協会からファサード計画に忍者屋敷を想起させるデザインを取り入れ、地域に愛される駅舎を実現したことで栄えある賞を受賞した。市民への周知に努めるべきでは。

建設部長 駅舎揭示やHPで広く周知を図る。

Q 運用が終了する「忍びトレイン」に関連したツールをリアル忍者館に展示するということについては。

建設部長 再利用が可能か関係団体と協議する。
Q JR草津線を忍者線、甲南駅を忍者駅の愛称付与にかかるJR西日本との協議は。

市長 JR西日本と実現に向けた議論が深まっていない。沿線自治体が一丸となれるよう、草津線複線化促進期成同盟会にしっかりと意見を提言する。



2020年鉄道建築協会賞佳作を受賞したJR甲南駅

選挙区内の有権者が威迫あるいは議員を陥れる目的で寄付を求めると処罰されます。



QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

橋本 律子
凜風会



Q 甲南体育館周辺の土地利用再編を
A 駐車場確保含め慎重に検討する

Q 甲南体育館・グラウンドのスポーツ振興や災害時避難所等の位置づけの背景と今後の利用の方向・今後の駐車場の在り方について伺う。

教育部長

昭和48年ごろ整備され、イベント・自主活動等に多く利用。グラウンド含め第一避難所と位置づけている。現在、年間両施設で3万7千人が利用。両側駐車場6470㎡は、約200台分で借用している。保健センター跡地含め将来利用見込み・市有地における駐車場確保含め勘案し、あり方を慎重に検討していく。

Q 甲南B&Gとの健康増進、スポーツ振興含め、さらに甲南駅北口へのアクセスも含め、当借地の有効再利用が必要では。

教育部長

より多くの市民が安全・安心な活用ができるよう施設全体の利便性向上に努め、引き続き活用していきたい。

その他、林業遺産認定の前挽鋸文化財の保護有効活用について質問しました。



利活用期待したい駐車場

山中 修平
志誠会



Q 水銀事故と体温計の回収について
A 監視強化と水銀の徹底回収をする

Q 可燃物焼却炉からの水銀排出事故の経緯は。

市環部長

11月4日測定

の排ガスから基準を上回る水銀が検出された。焼却炉を止めて、規則に従い薬剤を投入することで、2月6日測定値からは基準内に収まっている。原因は搬入ゴミに混ざっていた水銀体温計とみられる。

Q 将来への事故防止の考えは。

市環部長

薬剤噴霧を続けることと、常時監視型水銀計の導入も視野に、協議していきたい。

Q 家庭に眠る水銀体温計などを根こそぎ回収する体制づくりは。

市環部長

今までは生活環境課だけで受けていたが、地域市民センターやエコステーション、不燃物処理場など窓口を増やし、いつでも受け付けるようにする。

Q 今後の体制に向けて市長に問う。

市長

水銀体温計の回収啓発を進めるとともに、湖南市及び組合が一層連携をとり安全な運営をしていく。



捨てないで届けて安心体温計

田中 新人
凜風会



Q 旧道「泉〜西水口」の舗装改修は
A 泉は部分補修・西水口は全面復旧

Q 旧東海道(泉〜西水口)舗装道路改修は。

建設部長

市道名坂・中郎線との交差点以東

については、上水道管更新工事が計画されているので、その際全面復旧で実施する。泉地先については、部分的な補修を計画している。

Q 小中学校で数か月タブレットを使用した効果は。

教育部長

一人1台となったことでドリルや調べ学習、意見の交流により考えをさらに深め、昨年より使う機会が増え、意欲向上につながる。

Q タブレットを使用することで今後の期待は。

教育長

情報収集や自分の考えをまとめたり表現したりが容易にでき、家庭学習の充実も図れる。

Q 甲賀市のスポーツの現状分析は。

教育部長

コロナ禍の中でスポーツ関連団体は事業を計画通り実施すべきか、中止・延期の判断を迫られることが多く、実施する際は感染防止対策をしっかりと講じた上で進めている。



舗装の老朽化著しい旧東海道

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。


 QRコードで質問の録画が見られます。
林田 久充
凜 風 会

Q 徹底的な行政改革の真意とは
A 私自身が覚悟を持って取り組む

Q 松尾団地の児童公園の修繕は、地元管理と
 のことであるが、補助
 制度は考えられないの
 か。

副市長 大規模な修繕
 の地元負担については、
 その手法を検討しなけ
 ればと考えている。

Q 覚書に基づき申し出
 があれば、地元所有に
 変更されるのか。

副市長 地縁団体の地元から譲渡の要望があ
 れば前向きに対応する。

Q 児童公園管理の一元化の考えは。

副市長 一元管理あるいは効率的な管理がで
 きるよう見直しを行う。

Q 伴谷の認定こども園整備の状況は。

副市長 令和5年4月の開園に向け全力で取
 組む。

Q 徹底的な行政改革の真意は。

市長 改革には明確なビジョンと前向きな議
 論が必要。選ばれたまちの実現に向け、先頭に
 立ち、覚悟を持って取り組む。



松尾団地の児童公園

田中 將之
公 明 党

Q パートナーシップ制度の導入を
A 仕組みの一つとして検討は必要

Q 同性婚について、本年三月、札幌地裁は、
 同性同士の結婚が認められないのは法の下
 の平等を定めた憲法十四条に違反するとの判決を出
 した。また、事実上の結婚生活を送る事実婚は、
 同性が異性かという二人の性別も関係なく、双
 方が夫婦として認識していれば「事実婚」と言え
 る。

このようなことから、市では、同性のみなら
 ず異性の事実婚を含むパートナーシップ制度を
 導入してはどうか。

市長 性の多様性を認め合い、性的指向また
 性自認によって不利益を被ることがない社会
 の実現が大切だ。多
 様性に対する敬意ま
 た理解を育むべく、
 市民意識への働きか
 けを続けていくとし
 もに、そうした中で
 当事者の方々を支え
 る仕組みの一つとし
 て、パートナーシッ
 プ制度についても検
 討していく必要があ
 る。



パートナーシップ制度

谷永 兼二
凜 風 会

Q フリースクール等の費用助成を
A 事例等を参考に調査検討を進める

Q 令和元年度、2年度の市内小中学校におい
 て30日以上欠席している児童生徒の状況は。

教育部長 令和元年度が242人、2年度は、
 現在集計のため未確定だが、220人を見込
 んでいる。

Q 不登校数の減少とまで至っていないが。

教育長 不登校が続く子どもたちに対しては、
 教職員が保護者との連携のもと、気持ちに寄り
 添う姿勢を大切にしながら、別室登校や放課後
 登校、家庭での学習の計画的なサポートなど学
 習機会の保障をおこなうことが大切であり、ま
 た、場合によっては、学校以外の学びの場を設
 定することも必要であると考えている。

Q 適応指導教室や民間施設の利用は。

教育部長 令和2年度
 3月末の利用状況は、小
 学生7名、中学生17名。

Q 不登校児童生徒を
 支援する民間施設に關
 するガイドラインの策
 定を。

教育長 策定が必要に
 なると考える。





QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

里見 淳
志 誠 会



Q 大戸川ダムの重要性は…

A 河川整備等が急務、強く要望する

Q 河川整備について県に対してどのように働きかけていくのか。

建設部長

今年度から環境調査及び正常流量調査が実施される。大戸川上流域の河川改修が具体化することにより、浸水被害の大幅な軽減が可能になる。河川整備計画の見直しが遅延ないように強く要望していく。

Q 凍結解除後に計画された県道栗東信楽線はダムを迂回して遠回りする計画、この計画では地元として納得できない。見解を求める。

建設部長

大戸川ダムに橋梁をかけることが望ましい。

Q 大戸川ダムの重要性は。

市長

上流地域において洪水が発生した場合に甚大な被害が想定される。河川整備等が急務であり、大戸川ダムの整備は市民の安全・安心の確保のため、極めて重要である。



大戸川ダム建設予定地

小西喜代次
日本共産党



Q 高原鐵道に高齢者無料制度の適用を

A 幅広い検討が必要であると考ええる

Q クラスター防止のため、市独自に感染リスクの高い公立施設での定期的なPCR検査の実施、同様に民間施設にも検査の財政援助が必要では。

健康部長

県において、一元的・総合的な対策が推進されるべきとの考えに変わりはない。

Q 学校再編計画で、再編検討協議会の結果を尊重するとしてきた。存続を決めた地域には、報告書にもとづく対応が必要ではないか。

教育長

新たに設置する審議会の提言を踏まえ、教育委員会として今後の方向性をまとめていく。

Q 信楽高原鐵道にも、市の無料乗車制度(障がい者・高齢者)適用を。試算では年350万円あれば可能。

建設部長

財政的負担が検討課題。

Q 勅旨西恩寺橋拡幅の早期実現を。

建設部長

国道307号と面しており、事故の危険性も含め公安委員会と研究していく。



国道307号に面する勅旨西恩寺橋

竹若 茂國
無 所 属



Q 自治振、区、公民館の運営あり方は

A 自治振、区、公民館の連携は不可欠

Q 自治振興会と区・自治会運営のあり方について。

総政部長

すみ分け、役割分担、役員の負担感があることは認識している。

Q 検討後の経過は。

総政部長

検討委員会の提言を受けて、庁内で検討し、区長会、自治振興会代表、市民との意見交換などを実施。それぞれの意見・対応をまとめ、具体策を部内で協議している。

Q 公民館の生涯学習活動のうねりは、自治振、公民館、区のまちづくりにつながるのでは。

教育部長

公民館を拠点に市民活動を行うことは人づくりであり、自治振興会、区の活性化につながる。

Q 社会教育指導員と地域マネージャーの連携が大切では。

教育部長

社会教育指導員、地域マネージャー、市民センター、自治振の連携が必要であり、自治振興会と夢の学習との連携の調整を行う。



高校生モニター会議

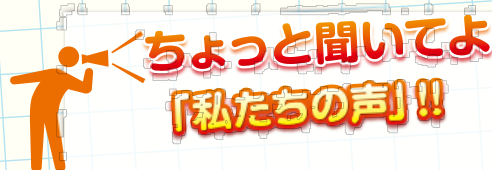
in 甲南高校&水口東高校

オンライン

甲南高校編



今回は、「甲南高校」と「水口東高校」で、それぞれ2回目となる【高校生モニター会議】を開催しました。「読みたいと思える『議会だより』って?」、「ちょっと聞いてよ『私たちの声』」と題して、ご意見を伺いました。



- 将来的な夢の実現のために転出したいと思ってますが、甲賀市は夜も静かですし、散歩には最適なところが多い。
- 交通の面で不便を感じている。
- 大型ショッピングセンターがあれば、楽しく活気が出ると思う。



甲南高校では、20名の生徒のみなさんに参加いただき、自由な発想と鋭い感性から、たくさんのアイデアをいただきました。多くの参加をいただいたので、感染症対策として「多目的室」と「視聴覚室」の2つに分かれてモニター会議を開催しました。



アンケート結果

甲南&水口東高校

市議会のことについて

- ✓ どんな議員がいるか 知っている9人
- ✓ いつ議会が行われているか 知っている4人
- ✓ 市議会の議場がどこにあるか 知っている4人

市議会だよりについて

- ✓ 知らなかった 5人
- ✓ 読んだことがあった7人
- ✓ 知っていたが読んだことがない 15人

どんなメディアから情報を得ていますか?

新聞	4	フリーペーパー	1
テレビ	12	インターネット	12
ラジオ	2	SNS	23
雑誌	3	その他	0

SNSで使っているものは?

LINE	25	フェイスブック	4
インスタグラム	19	ツイッター	21
その他	1		

読みたいと思える『議会だより』って?



文字のフォントを柔らかくしたり、イラストを多くしてほしい。

InstagramやTwitterで定期的にアップすれば、内容量も抑えられて読みやすいのでは?



文字を「縦書き」から「横書き」にした方がよいのでは?

興味を引く表紙にしてほしい。



水口東高校編



市議会だよりの印象

- まとまっていて読みやすい
- カラーでわかりやすい
- (内容が)わかりやすく書いていた
- 様々な資料があり読みやすい
- 字が大きくて読みやすいと思った
- スマホに対応していて良い
- 予算の使い方や議会の内容などを知ることができて良かった



甲賀市の好きなおとこ

- 自然豊かで緑が多く住みやすい
- 信楽焼、土山茶など全国的に有名
- スポーツのできる施設や勉強ができる「まる一む」などの施設がある
- 挨拶を交わせる人や優しい人が多い、ふれあいのまち
- 伝統があり守られている



普段の生活で感じていること

- 暗いところが多いので、街灯を増やして欲しい
- バスでICカードが使えるようになってほしい
- 本数を増やしてほしい
- 近江鉄道の料金が高い
- 段差が多くバリアフリーになっていない
- 草が歩道にまで生えていたり、ひび割れていたりして通学路が危ない
- 横断歩道で車が止まってくれない
- 旧町別の格差がある

感想

高校生モニター会議を終えて

高校生の貴重なナマの声を聞かせていただき、わたし達も勉強になりました。
ありがとうございました。



甲南&水口東高校

- 話を真剣に聞いてくれてうれしかった
- クラスで出た案以外にも、さらに案が出せたので、甲賀市の役に立てたかなと思った
- 貴重な体験ができた
- 親しみやすかった
- またこのような機会があれば良い
- 甲賀市をもっと知っていかなければと思った
- 高校生の意見も取り入れようとしてくれるからこそ、甲賀市は住み良いまちなのと思った
- 議員の皆さん、とてもおもしろくて仲が良いんだなと思いました。なので、甲賀市も明るいのかなと思いました

高校生モニター会議 in 甲南高校&水口東高校

集合写真

5月18日(火)に甲南高校、6月9日(水)に水口東高校で「議会だより」や「まちづくり」について皆さんの意見をいただきました。これからはさらに若い皆さんに手に取って読んでいただける紙面づくりに努めていきます。

甲南高校編



甲南高校のみなさんには、モニター会議の冒頭に「学校紹介」をしていただきました。甲南高校の総合学科では、2年生から4つの系列(『生物と環境』、『バイオとかがく』、『福祉と保育』、『食と健康』)に分かれ、それぞれで特色のある学び・活動がなされています。

水口東高校編

水口東高校のみなさんは、今回のモニター会議に向けて、授業の中で主権者教育について考えをまとめ、意見交換をして、のぞんでくださっており、甲賀市について、議員と高校生の間で活発な話をすることができました。ありがとうございました。



編集後記

▶ 今年の近畿地方の梅雨入りは、1951年の統計開始以来最も早い5月16日頃となったようです。7月中旬になり、長く続いた梅雨もようやく明けることとなりましたが、その間において、大雨によって土石流の被害を受けた静岡県熱海市をはじめ全国各地で被害が報告されています。被災された皆さま並びにご家族の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。▶ 先日、第33回近畿市町村広報セミナー(WEB)を受講し、よりよい広報紙面の作成について勉強させていただきました。今後も「全世代に対して身近でよりわかりやすい市議会」を目指して、議会と市民の皆さんをつなぐパイプ役である「甲賀市議会だより」の充実に広報特別委員会一丸となって取り組んでまいります。
(広報特別委員 西村慧)

議会の傍聴ができます。

本会議と委員会は誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は議会事務局までお問い合わせください。

9月議会の予定

8月23日	9時30分～	本会議(第1日) 議案上程・提案理由説明
8月31日	9時30分～	本会議(第2日) 議案審議
9月1日	9時30分～	本会議(第3日) 一般質問
9月2日	9時30分～	本会議(第4日) 一般質問
9月3日	9時30分～	本会議(第5日) 一般質問
9月6日	9時30分～	本会議(第6日) 一般質問
9月7・8・9・10・13・14・15・16日	9時30分～	委員会
9月22日	9時30分～	本会議(第7日) 委員長報告・質疑討論・採決

8月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月						
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

カメラの



あいにくの雨でしたが、7月7日、甲南町の矢川神社で「七夕まつり」が行われ、市内のたくさんの方々が願いを託した七夕飾りを奉納されました。その数約60本。たくさんの七夕飾りがある中で、出会った子どもが願い事を託した短冊を見つけて教えてくれました。ひなたちゃんの願いが叶うといいね。



(写真撮影 里見 淳委員)